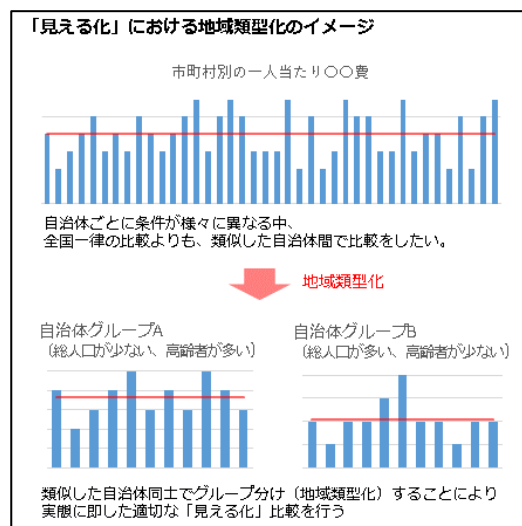


経済・財政と暮らしの指標「見える化」分析用 地域類型化ツール 利用説明書

<概要>

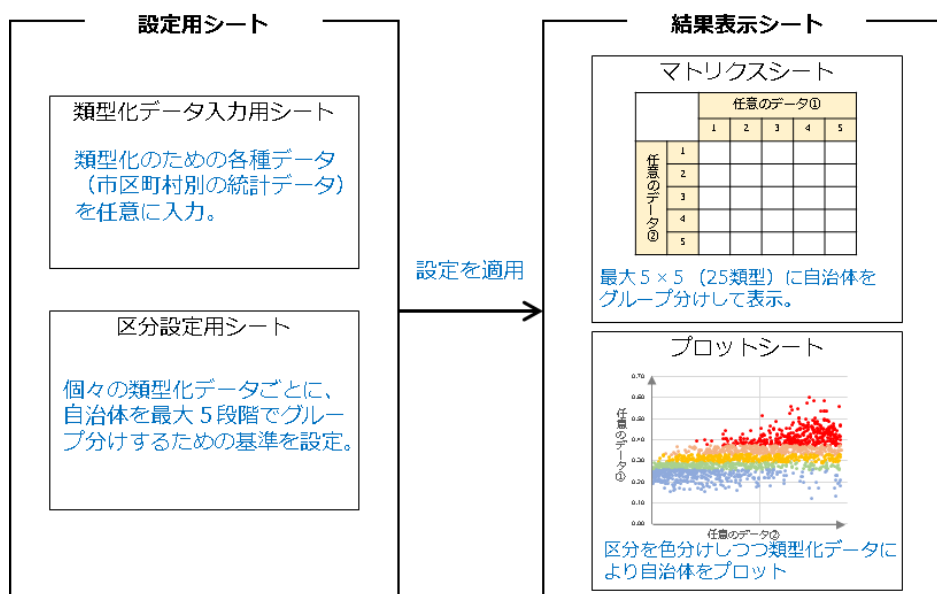
経済・財政一体改革における「見える化」にあたっては、全国の自治体を一律に比較するのではなく、人口規模や財政状況など様々な面で類似した自治体同士で比較を行うこと（地域類型化）が重要です。

内閣府はこれまで、「見える化」のために作成・公開している「経済・財政と暮らしの指標『見える化』データベース」に地域類型化機能を搭載し、その機能強化などを行ってきましたが、このたび、「見える化」分析をさらに促進するため、地域類型化に特化した分析ツールとして「地域類型化ツール」を作成しました。



地域類型化ツールは主に、4つのシート（2つの設定用シート、2つの結果表示用シート）で構成されています。

本説明書では以下、各シートの役割と機能、操作方法について説明します。



1. 類型化用データの入力について

類型化用データ入力用シートでは、自治体を類型化するための基準として使用する様々なデータを入力するためのシートです。ここに入力されたデータが、マトリクスやプロットを作成するために利用可能なデータになります。

<画面イメージ>

②

③

区分名表示		ガイド表示	基礎データ		財政関連データ					人口関連データ（加工データ）		
設定表示			人口総数	財政力指数	財政力指数	将来負担比率	実質公債等比率	一人当たり歳出 決算総額	65歳以上人口 比率	65歳以上人口 比率（将来）	65歳以上人口 比率（将来）	
コード	自治体名		2015	2016	2015	2016	2016	2016	2015	2030	2040	
1100	北海道 札幌市		1,952,356	0.73	0.72	0.39	0.04	439.48	0.25	0.32	0.38	
1202	北海道 函館市	①	265,979	0.46	0.46	0.63	0.08	484.13	0.32	0.39	0.44	
1203	北海道 小樽市		121,924	0.43	0.42	0.62	0.08	460.99	0.37	0.44	0.50	
1204	北海道 旭川市		339,605	0.51	0.49	0.94	0.07	462.25	0.32	0.40	0.45	
1205	北海道 室蘭市		88,564	0.61	0.61	0.58	0.10	517.93	0.34	0.37	0.39	
1206	北海道 釧路市		174,742	0.45	0.44	1.12	0.11	525.16	0.30	0.38	0.43	
1207	北海道 帯広市		169,327	0.57	0.56	1.12	0.09	475.70	0.26	0.33	0.38	
1208	北海道 北見市		121,226	0.45	0.45	1.39	0.10	546.38	0.30	0.39	0.44	
1209	北海道 夕張市		8,843	0.18	0.18	5.94	0.77	993.10	0.49	0.53	0.56	
1210	北海道 岩見沢市		84,499	0.38	0.38	0.45	0.06	530.92	0.33	0.42	0.47	
1211	北海道 網走市		39,077	0.41	0.40	1.72	0.16	678.76	0.27	0.36	0.40	
1212	北海道 留萌市		22,221	0.32	0.31	0.86	0.17	551.48	0.34	0.44	0.50	
1213	北海道 苫小牧市		172,737	0.77	0.76	0.74	0.06	399.23	0.26	0.33	0.37	
1214	北海道 釧路市		36,380	0.37	0.36	0.61	0.14	610.61	0.29	0.37	0.42	
1215	北海道 美瑛市		23,035	0.26	0.25	1.53	0.15	623.59	0.38	0.49	0.56	
1216	北海道 芦別市		14,676	0.25	0.25	0.98	0.08	666.76	0.44	0.51	0.56	
1217	北海道 江別市		120,636	0.53	0.52	0.32	0.09	340.57	0.27	0.39	0.45	
1218	北海道 赤平市		11,105	0.21	0.20	1.16	0.18	693.41	0.45	0.53	0.57	
1219	北海道 紋別市		23,109	0.30	0.29	0.38	0.11	696.83	0.34	0.42	0.47	
1220	北海道 士別市		19,914	0.26	0.25	1.39	0.14	753.74	0.37	0.47	0.52	
1221	北海道 名寄市		29,048	0.27	0.27	0.29	0.08	686.11	0.30	0.35	0.38	
1222	北海道 三笠市		9,076	0.19	0.19	0.52	0.06	969.60	0.46	0.47	0.48	
1223	北海道 根室市		26,917	0.33	0.32	0.67	0.09	555.89	0.31	0.38	0.43	
1224	北海道 千歳市		95,648	0.78	0.77	0.72	0.10	467.04	0.21	0.26	0.31	
1225	北海道 滝川市		41,192	0.38	0.37	1.00	0.11	528.36	0.33	0.41	0.47	
1226	北海道 砂川市		17,694	0.31	0.31	0.10	0.07	613.06	0.37	0.45	0.51	
1227	北海道 歌志内市		3,585	0.11	0.10		0.11	1084.62	0.47	0.59	0.65	

① データ入力欄

自治体別のデータを入力するためのスペースです。新たなデータを追加する場合、任意の場所に新たに列を追加してデータを入力できます（※データを入力しても、データ名称を入力しないとデータとして認識されないためご注意ください。データ年次は省略可能です）。

自治体コードと自治体名は「経済・財政と暮らしの指標『見える化』データベース（以下、「見える化データベース」）」における市区町村別データのフォーマットに対応しており、見える化データベースからダウンロードしたデータであれば、全体をコピー＆ペーストするだけでデータが利用可能です。

数値データでなく、該当の有無を示すようなデータ（例：市町村合併履歴）については、区分を設定したりマトリクスやプロットなどの機能でデータを活用することはできませんが、そのデータによってフィルタをかけることにより、マトリクスの作成の対象となる自治体をあらかじめ絞り込むことができます。

②区分名表示／データ表示切替ボタン

データの表示方法について、数値表示と、区分名（各段階の名称）表示を切り替えることができます。区分が設定されていないデータは、区分名表示モードでも数値のまま表示されます。

③ガイド表示オン／オフ切替ボタン

ガイド機能のオン、オフを切り替えることができます。

ガイド機能をオンにすると、データ入力欄内のセルを選択した際、選択列と選択行の全体が色付け表示され、選択中のデータ及び自治体を判別しやすくなります。

④設定表示オン／オフ切替ボタン

設定表示をオンにすると、各データに設定された区分基準と区分名称が表示されるほか、

＜注意点＞

- 上述の通り、データは任意の場所に列を挿入することで追加できますが、一番最初（一番左側）のデータだけは「人口総数」にしておいてください。人口総数のデータを更新することや区分を変更することは問題ありません。
- データ部分の列については任意に追加したり削除したりできますが、
行については原則として削除しないでください。ツールの機能によっては正常に作動しなくなる場合があります。非表示にしたい自治体がある場合はフィルタ機能などを使用してください。
- 入力したデータにエラー表示状態のもの（#DIV/!や N/A など）が含まれていると、区分の設定の際、
一部の機能が使用できない場合があります。
- このシートにデータを入力しても、次項で説明する「区分の設定」を行わなければ、マトリクス機能や
プロット機能で使用するデータとして選択することができません（データ選択用リストに表示されません）。

2. 区分の設定について

区分設定用シートでは、自治体のグループ分けのために、個別の類型化用データごとに最大5段階の区分を作成することができます。区分ごとの名称と、区分の基準（数値）は任意に設定することができます。

<画面イメージ>

類型化区分 設定シート
 ③ 選択中: 人口総数 (2015)

区分を適用 区分を記録 記録を削除 区分を自動作成

1 人口総数 (2015)

No.	区分名	以上	未満	該当自治体数	メモ
1	特に高い ①	0.76		0	②
2	高い	0.54	0.76	0	
3	中	0.37	0.54	0	
4	低い	0.23	0.37	0	
5	特に低い		0.23	0	

2 財政力指数 (2016)

No.	区分名	以上	未満	該当自治体数	メモ
1	特に高い	0.76		358	
2	高い	0.54	0.76	356	
3	中	0.37	0.54	348	
4	低い	0.23	0.37	368	
5	特に低い		0.23	311	

3 財政力指数 (2015)

No.	区分名	以上	未満	該当自治体数	メモ
1	特に高い	0.74		355	
2	高い	0.37	0.74	349	
3	中	0.03	0.37	348	
4	低い	0.00	0.03	365	
5	特に低い		0.00	324	

① 区分設定欄

最大5段階の各区分の名称と、その基準を入力するための欄です。

基準は、「以上」欄に数値を入力すると、「未満」欄は自動入力されます。画面イメージの例では、類型化用データのうち「財政力指数」について、数値が「0.76 以上」である自治体は最も高い区分である「特に高い」に分類され、「0.54 以上 0.76 未満」である自治体は「高い」に分類され…という区分が設定されています。

設定を入力して、④の「区分を適用」を実行すると、分類が実行され、各区分の該当自治体数が自動で表示されます。

※基準をすべて入力するのが面倒な場合や、どのような基準を設定すべきが決まっていない場合には、⑦の「区分を自動作成」機能を使うことで自動入力ができます。自動入力では、各区分の該当自治体数がおおむね均等になるように基準が設定されます。

②メモ入力欄

設定した区分について、どのような考え方に基づいて設定したものであるか、などをメモするための欄です。

③選択中区分名表示欄

選択中セルの位置に基づいて、現在選択中（設定中）の類型化データが自動で判別され、その名称が表示されます。④以降のボタンを押すと、ここに表示されている類型化データを対象として機能が実行されます。

④区分適用ボタン

設定した区分名称と区分基準を、類型化データに適用します。適用を実行すると、該当自治体数が自動でカウントされて表示されるとともに、類型化データ入力シート上で「区分名表示」モードをオンにすれば、自治体ごとの区分結果が確認できます。

マトリクスシート及びプロットシートでは、ここで適用した区分をもとに、マトリクスの構成やプロットの色分け等が表示されます。（区分名称や区分基準を入力しても、「区分を適用」を実行するまでは区分は変更されないため、ご注意ください）

⑤区分記録ボタン／記録削除ボタン

現在の区分設定を保存しつつ、別の設定を試すための機能です。「区分を記録」を実行すると、選択中の類型化データの隣に、メモを含めた現在の設定がそのままコピー＆ペーストされます。記録した設定に戻りたい場合は、コピーされた区分名称と区分基準をコピーし、区分設定欄にペーストしてください。「記録を削除」を実行すると、選択中の類型化データについての記録が削除されます。（この操作は「元に戻す」ができないためご注意ください）

⑥区分自動作成機能実行ボタン

区分設定や区分基準をすべて自分で設定するのが大変な場合や、とりあえず何らかの区分を設定したい場合に、機械的な基準により区分を自動で作成する機能です。

実行すると、各段階の該当自治体数が均等に近くなるような区分基準が自動で設定されます。区分の数は、区分設定欄のうち「No」欄に入力されている数値に応じて設定されます（例えば1～5まで入力されていれば5段階に区分され、1～3まで入力されていれば3段階に自動で区分されます）。区分設定の自動作成後、設定を適用する場合は、「区分を適用」ボタンを選択してください。

3. 類型化マトリクスについて

<画面イメージ（基本画面）>

財政力指数（2016）× 65歳以上人口比率（2015）

		65歳以上人口比率（2015）					合計
		特に高い	高い	中	低い	特に低い	
財政力指数（2016）	特に高い	① 5	10	29	94	219	357
	高い	6	28	80	146	96	356
	中	26	99	134	54	35	348
	低い	111	153	76	16	13	369
	特に低い	200	57	30	12	13	312
合計		348	347	349	322	376	1742

③
ハイライトする自治体：北海道 札幌市 自治体選択

⑥ フィルタを反映 ⑤ データを表示 ④ ハイライトON

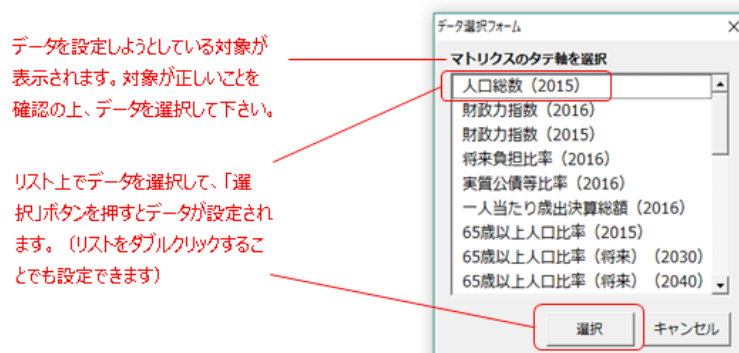
①類型化マトリクス

設定された類型化データ、及び区分設定をもとに、各自治体が最大5×5のマトリクスのどのセル（類型）に該当するか全自治体について判定し、各セルの該当自治体数をカウントしたものです。セルをダブルクリックすると、該当自治体の類型化データを抽出して表示できます。データ表示中の類型は、該当自治体数が太字で表示されます。

②使用データ表示欄／データ選択ボタン

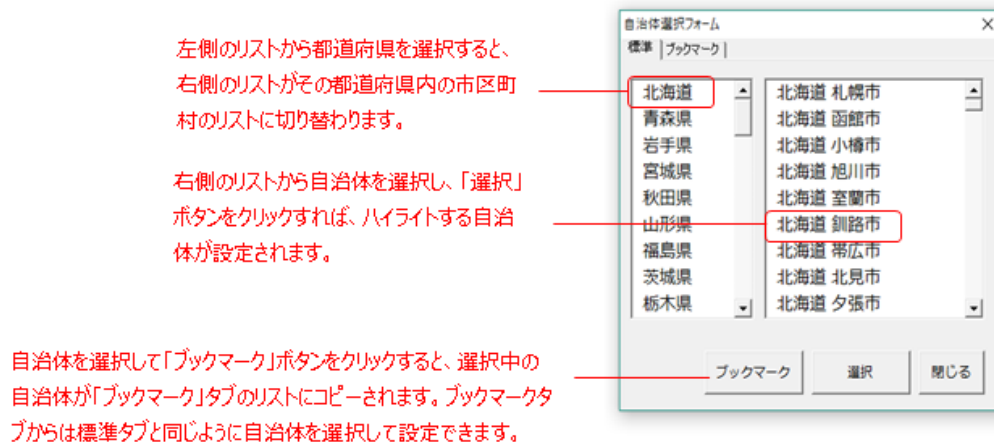
マトリクスの縦軸、横軸それぞれに、どの類型化データを使用するかを選択します。

ボタンを押すと選択フォームが表示されるので、リストの中から、タテ軸またはヨコ軸として使用したいデータを選択してください。



③調べたい自治体表示欄／自治体選択ボタン

ハイライト表示機能により表示する自治体を選択します。



④ハイライト ON/OFF 切替ボタン

ハイライトモードをオンにすると、③で選択された自治体が、どのセル（類型）に該当するかを表示できます。該当するセルは青枠で囲われて表示されます。またデータ表示モードがオンになっていて、かつ表示中のデータとハイライト中の自治体が同じである場合、表示されたデータの中でも選択中の自治体が強調表示されます。

⑤データ表示 ON/OFF 切替ボタン

オンにすると、選択したセル（類型）に該当する自治体の類型化データを表示できます。

⑥フィルタ反映モード ON/OFF 切替ボタン

マトリクス機能では通常、「類型化データ入力用シート」でオートフィルタ機能が使用されていても、全自治体を対象としてマトリクスのカウントを行っています。フィルタ反映モードをオンにすれば、類型化データ入力用シート上で適用されたオートフィルタがマトリクスにも適用されます。例えば自治体名として「東京都」でフィルタをかけると、マトリクス上では東京都の自治体のみについて該当自治体数がカウントされます。

<画面イメージ（データ表示モード ON 状態）>

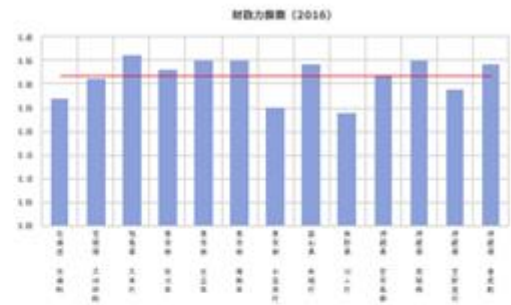
財政力指数(2016)×65歳以上人口比率(2015)

		65歳以上人口比率（2015）					合計
		特によい	よい	◎	悪い	特に悪い	
経済力指数（2016）	特によい	5	10	29	54	215	35
	よい	6	28	60	146	96	35
	◎	28	95	134	54	35	34
	悪い	111	153	76	18	13	36
	特に悪い	306	57	30	12	11	31
合計		348	347	340	322	376	174

フィルタを戻す データを消す ハイライトON

ハイライトと赤線印付： 重要図表、要約

白濁性關節炎



⑧

データとして表示するデータ： 財政力指数（2016）

アークス

財政力指数(2016)【低い】×65歳以上人口比率(2015)【特に低い】のグループ[illegible]

⑦データ表示欄

選択中のセル（類型）に該当する自治体の類型化データが表示されます。

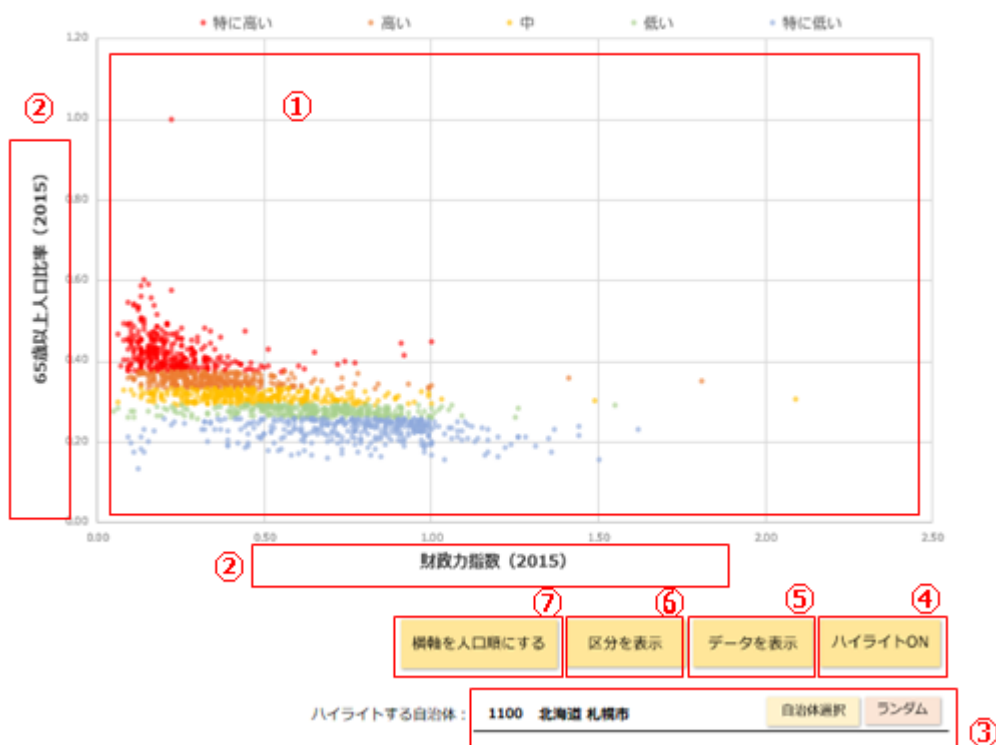
⑧ グラフ表示データ選択ボタン

類型化データからデータを選択して、表示中の自治体間でデータを比較するための棒グラフを表示させることができます。赤いラインは、表示中の自治体の中での平均値を表します。

4. 類型化プロットについて

<画面イメージ>

65歳以上人口比率（2015）× 財政力指数（2015）



①類型化プロット

縦軸、横軸に設定したデータをもとに、散布図を作成して表示します。縦軸に使用する類型化データに設定された区分に基づき、プロットが色分けされます。

②タテ軸データ／ヨコ軸データ選択ボタン

プロットの縦軸、横軸それぞれに、どの類型化データを使用するかを選択します。

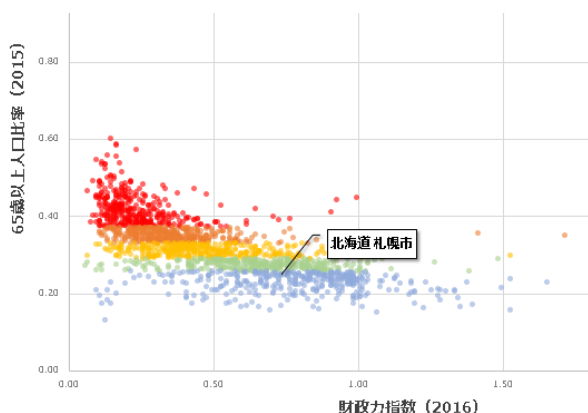
それぞれの軸ラベルの部分をクリックすると選択フォームが表示されるので、リストの中から、タテ軸またはヨコ軸として使用したいデータを選択してください。

③調べたい自治体表示欄／自治体選択ボタン

ハイライト表示機能により表示する自治体を選択します。「ランダム」機能を選択すると、全自治体の中からランダム自治体を選択されて、ハイライト表示されます。

④ハイライトモード ON/OFF 切替ボタン

オンにすると、選択中の自治体のプロットにラベルが表示され、調べたい自治体のプロットがどこにあるのか分かりやすくなります。



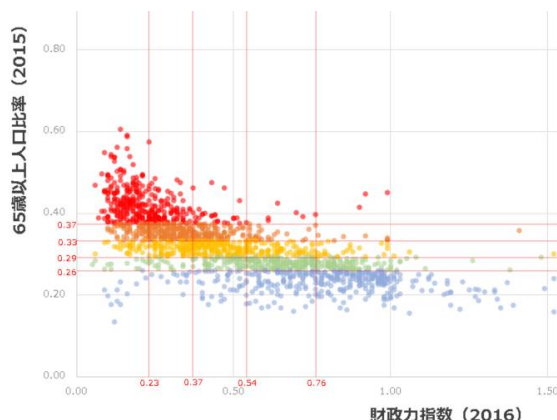
⑤データ表示 ON/OFF 切替ボタン

オンにすると、プロットに使用されているデータが表示されます。

⑥区分表示 ON/OFF 切替ボタン

オンにすると、選択されている類型化データに設定された区分が赤線で表示されます。

※選択中のデータについて区分基準を変更した場合、データを再度選択し直すことで区分基準が更新されます。



⑦人口順モード ON/OFF 切替ボタン

このモードをオンにすると、横軸として選択されたデータが一時的に無効になり、全自治体が左から総人口の大きい順に並べられます。人口順モードがオンの状態で、区分を表示させると、「人口総数」データについて設定した区分基準が表示されます。